

令和4年度 百合丘高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	家庭・家庭総合	学年	第2学年	教科書	実教出版「新家庭総合」
		単位数	3単位	副教材	実教出版「生活学Navi資料+成分表 2022」

学習目標
 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

学習方法
 ○課題に対して自ら考え、解決するためにどのような行動や態度であればいいのかを考える活動を行います。
 ○実習を通し、基本的な技術を身につけ、その技術を日常生活の様々な場面で生かせるよう、学習を進めていきます。
 ○グループワークを通して周りの生徒と共同で考える活動を行います。コミュニケーションを通して、協力して多様な考えを受け入れて考えを深め広げていきましょう。
 ○授業ではプリントを中心に学習していきます。プリントや作品の提出もありますので、自己管理はしっかり行いましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	
b	思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。		
c	技能	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。		
d	知識・理解	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	人の一生と家族・家庭 食生活の科学と文化	28	自分らしい生き方と家族生活をつくる	共に生きる家族 家族に関する法律	○	○	○		a 青年期の課題を理解し、さまざまな人と共に生きる社会について考えようとしている。食生活について関心をもち、栄養・食品・知識の習得に意欲を持って取り組もうとしている。 b 家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、表現することができる。栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。 c 栄養バランスのとれた献立を作り、食生活の自立に必要な基礎的な調理ができる。 d 栄養素の働きや食品の安全性について理解している。家族に関する法律、生活にかかわる労働の意義やその環境についての知識を身につけている。	定期テスト ワークシート 調理実習 実験実習 被服実習と作品 グループワーク 授業態度
			子どもとかかわる	発達のすばらしさ 子どもの生活	○	○	○			
			子どもや高齢者とのかかわりと福祉	親になることを考えよう		○	○			
後期	住生活をつくる 衣生活をつくる	36	住生活をつくる	住環境と住まいの機能	○	○	○		a 住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとしている。 b ライフステージと住空間の設計の関係、住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 c 被服実習において、製作活動に意欲的に取り組んでいる。被服材料について科学的に理解しようとしている。 d 被服材料の基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。	
			衣生活をつくる	被服の機能 衣生活の管理		○	○			
			衣服を作ろう		○	○				
後期	生活における経済の計画と消費	18	消費者として自立する	社会の変化と消費生活	○	○	○		a 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりに関して積極的に理解しようとする。 b 複雑化、多様化する消費生活の現状と課題を理解し、経済計画を考えようとしている。 c さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 d 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。	
			経済の仕組みを知る				○	○		
			契約と消費者保護				○	○		
合計時数(55分授業)		96								